

3/29-31 *Hirado City Photo News*  
**子どもたちがさまざまな仕事を体験**



子どもの職業体験施設「キッズニア」を企画・運営する職業体験イベント「Kidsジョブチャレンジ2018in平戸」が開催されました。

市町村単位では全国初開催で、3日間で県内外から延べ4,700人が参加し、平戸の特徴を生かした職業や、和菓子職人、すし職人、消防士などさまざまな仕事にチャレンジしました。

子どもたちは、この職業体験を通じ、働くことの大変さや楽しさ、社会の仕組みなどを学ぶことができました。

3/3-16 *Hirado City Photo News*  
**オランダの文化を学び、国際的な感覚を育む**



オランダ王国ノルトワイケルハウト市との姉妹都市締結を機に、平成24年度から、高校生を相互派遣し交流を行っています。

高校生12人がノルトワイケルハウト市を訪問し、高校生宅へホームステイしました。現地の高校に自転車で通学するなど、日本では経験できないさまざまな文化や習慣を学ぶことができ、会話も英語で話すことで、英語およびコミュニケーション能力が向上したようです。今後、この中から将来国際的に活躍する人材が現れることが期待されます。



3/19 *Hirado City Photo News*  
**創業100周年を記念して**



大手総合物流会社「山九株式会社」(本社・東京)の中村公大社長が市長を訪問し、平戸市離島開発総合センター跡地に計画されている公園整備費に充ててほしいと、本市に100万円の寄附をいただきました。

「山九株式会社」の創業者である中村精七郎さんが平戸生まれで、市内には同社の研修施設である「山九平戸錬成館」があり毎年新入社員などの研修が行われています。中村社長は「今後も深い縁を大切に、協力していければ」と話しました。

3/18 *Hirado City Photo News*  
**雛の市特製ぜんざいをふるまう**



平戸港交流広場で、平戸商工会議所女性会による雛の市が開催されました。

雛の市は、3月のひな祭りの時期に、平戸に来る観光客などをおもてなししようと毎年開いている催しで、紅白のお餅が入った特製の雛ぜんざいの無料ふるまいや加工品や平戸の地酒など特産品の販売が行われました。また、平戸オリジナルの大判カルタによるカルタ大会も行われ、平戸にゆかりのある人物や地名の問題に、参加者たちは楽しみながら平戸を満喫していました。

3/18 *Hirado City Photo News*  
**オランダの大人気ボードゲーム**



平戸オランダ商館でオランダで大人気のボードゲーム、シューレンの大会が開催されました。

シューレンとは、30個の木製の丸いコマを滑らせて、点数が決まった4つのゲートに入れ、入れたコマの合計で勝者が決まるゲームです。ルールは簡単ですが、オランダでは全国大会も開催されるなど、子どもから大人まで楽しめるゲームです。

この日は、子どもの部と大人の部に分かれて行われ、集まった約100人の参加者は夢中になってシューレンを楽しんでいました。

3/6 *Hirado City Photo News*  
**新1年生の登下校のお守りに**



市役所田平支所2階の教育委員会で、平戸ライオンズクラブが、4月から新1年生となる児童240人に防犯ブザーを寄贈しました。

この日は、平戸ライオンズクラブの田口会長らが教育委員会を訪れ、小川教育長に「市内の子どもたちが、安心安全な登下校が出来るように、活用してください」と話し、直接手渡ししました。

この事業は、平戸ライオンズクラブの社会奉仕活動の一環として毎年行われており、今年で10回目となりました。

4/13 Hirado City Photo News  
**交流の架け橋として**



本市の新しい国際交流員として着任した張静さん(中国河北省出身)に辞令が交付されました。

張さんは、地元の河北大学外国語学院日本語学部を卒業後、上智大学に2年間留学しました。その後中国の旅行会社や、中国人旅行者向けの日本語ガイドブック作製などの仕事をしていました。

今後は、国際交流事業やイベントなどでの通訳や、市民向けの中国語講座の講師などを務めます。張さんは「平戸に来てうれしい、さまざまな事業に積極的に取り組みたい」と抱負を述べていました。

4/8 Hirado City Photo News  
**菜の花ロードをウォーキング**



志々伎地区で「大志々伎菜の花&れんげウォーク」(志々伎地区まちづくり運営協議会主催)が行われました。

この日は、晴天の下約80人が参加し、さわやかな海風を感じながら、海沿いの遊歩道や菜の花畑の道を軽快に歩いていました。また、中間地点では地元婦人会などの協力により、大志々伎の棚田米を使ったおにぎりや豚汁などもふるまわれ、参加者は棚田や自然に囲まれた大志々伎の雰囲気を満喫していました。

4/3 Hirado City Photo News  
**開放感ある草原で春の訪れを楽しむ**



生月町の山頭草原で「山頭草原まつり」(NPO法人山田・館浦地区まちづくり運営協議会主催)が開催されました。

まつりでは、地域の皆さんや春休みで帰省中のご家族などが参加し、山頭牧野組合の指導のもと、とげがあり放牧牛が食べると口の中が傷つくと言われる草「アザミ」を参加者全員で掘り起こし、草原保全の手伝いを行いました。続いて、絶叫大会や宝さがし、弁当開きなどが行われ、参加者の皆さんは開放感ある草原で、春の訪れを楽しんでいました。



3/16 Hirado City Photo News  
**今でもお元気に一人暮らし**



獅子町の吉永モヨさんが100歳のお誕生日を迎え、市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

吉永さんは、結婚後、農業や漁業などをしながら子どもを育てられました。現在は、デイサービスやホームヘルパーを利用し一人暮らしをされています。

お祝い式では、にぎやかな雰囲気の中、お祝いしてくれた多くのご親戚や地域の皆さん、また獅子保育園の園児にいていねいにお礼のあいさつをされました。

3/8 Hirado City Photo News  
**現在も元気に草むしり**



古江町の岡部シマさんが100歳のお誕生日を迎え、市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

岡部さんは、結婚後、農業などをしながら子どもを育てられました。90歳までゲートボールで体を動かし、現在でも畑の草むしりをされるなどお元気に過ごしています。

お祝い式では、にぎやかな雰囲気の中、多くのご家族や親戚の皆さんに祝福され、うれしそうにあいさつされました。

3/25 Hirado City Photo News  
**商店街に軽自動車20台が出店**



木引田町・宮の町商店街一帯で、「第1回ひらど軽トラ市」が開催されました。市内の20業者が、軽自動車の荷台などで水産加工品・かまぼこ・菓子などの食品類や衣類・雑貨などを販売し、多くの来街者でにぎわいました。

ひらど軽トラ市は、今後も毎月第4日曜日に開催し、継続的に参加できる出店者を募集しています。出店を希望する事業者・団体などは、ひらど軽トラ市実行委員会(☎22-3131)までお問い合わせください。

3/22 Hirado City Photo News  
**大きなクジラを描く**



生月町中央公民館前の生月漁港防波堤の壁面に、生月小学校6年生の児童が卒業記念として描いた、大きなクジラの壁画が完成しました。

この卒業記念の事業は、生月漁港防波堤の壁面を一つのキャンパスに見立てて、10年間の長期計画で実施していて今年で5回目になります。

この日は、出来上がった作品の前で6年生が全員集合し、記念撮影を行いました。ある卒業生は「防波堤に大きな絵を描くのは大変だったけど、いい思い出ができました」と話していました。